



足
伏
走
馬
5
月
初
旬

GOVERNOR'S 2022-23年度 国際ロータリー第2650地区ガバナー月信 MONTHLY LETTER

CONTENTS

- P2 ガバナーメッセージ
- P3 地区行事報告
- P6 地区行事報告
ロータリーと奉仕活動
- P7 会員数の増減および出席率表
- P8 会員の動き

RI第2650地区 2022-23年度
スローガン 「感動、感激、そして感謝」

第2650地区 2022-23年度ガバナー 尾賀 康裕

May.2023 Vol.11

5

5月 — 青少年奉仕月間 —

5月は青少年奉仕月間です。マイロータリーの青少年プログラムページには次のように記載されています。

「ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。」

ところで、ロータリーのいう青少年とは具体的にどの年齢のレンジを青少年というのでしょうか。

ロータリーの青少年プログラムには4つの常設プログラムがあります。

一つ目はライラ(ロータリー青少年指導者養成プログラム)で、対象年齢は14歳から30歳の青少年です。

二つ目はインターアクトです。これは12歳から18歳の青少年が対象となっています。

三つめは青少年交換プログラムです。対象年齢は15歳から19歳の青少年です。

4つ目は新世代交換プログラムで、30歳までの大学生や社会人を対象にしています。

ですからロータリーの言う青少年とは基本的には12歳から30歳までということになります。このレンジの青少年が

将来の地域や国家のリーダーとして育てられるようロータリーが支援する事業が「青少年奉仕」活動です。

ところが我が国・日本では、年々この青少年人口が減少しています。人口統計によると2021年現在で、12歳から30歳までの人口は2千2百70万人。これは総人口1億2千5百万人の18%でしかありません。

ちなみに定年後の66歳以上の人口は3千4百60万人で総人口の28%と青少年層より10%も多い人口構成になっています。

加えて、2022年に生まれた赤ちゃんはついに80万人を下回りました。この子たちが12歳になる2034年の12歳から30歳までの人口は計算上、1千8百80万人となり現在よりもさらに400万人近くの青少年人口が減少することになります。

このように少なくなっている青少年に我が国の将来を託さなければなりません。このように考えるとロータリーが実践する青少年奉仕活動はますます重要であり、その責任も重いものになります。

「今どきの若いもんは何考えとるか、ようわからん！もっとしっかりしてくれんと困る！」とぼやく前に、彼らの価値観を理解しましょう。そして彼らが、一人でも多くの人との出会いや多くの体験を通じて、今後の人生で目指すべき「理想の自分」を発見してもらえるようなサポートをするのがロータリーのミッションだと思います。

もう今年のロータリー年度も残すところ2ヶ月です。次年度に向けて青少年奉仕活動により一層磨きをかけていただくようお願い申し上げます。

国際ロータリー第2650地区 2022-23年度ガバナー

尾賀 康裕



◀ RLI研修会
京都経済センターにて

会員増強アクション会議

2023年3月4日(土) 京都リサーチパーク

2023年3月4日に京都リサーチパークにて3年ぶりに会員増強アクション会議を開催いたしました。

2022年12月に96クラブに会員増強についてのアンケートを実施しました。その解答の中で斬新で革新的な増強活動がされているクラブを知ることが出来ました。多くのクラブが、様々な取り組みをされ、いくつもの課題を克服するうえで新しいアイデアを出し、クラブの未来にむけて実践されています。それを地区内クラブと共有し、学び多い会議にしたいと考え、会議前半は選抜した8クラブに事例発表をして頂きました。

また、会議後半はアンケートの結果について発表し、出席者の方と共有を行いました。



中澤 忠嗣バストガバナー



ご来賓

ガバナー	尾賀 康裕様
担当諮問委員	中澤 忠嗣様
ガバナーエレクト	中野 博美様
次年度幹事長予定者	三好 正晃様
次年度地区研修委員	平岡 弘行様

発表クラブ

京都伏見RC	平城京RC	京都洛北RC	守山RC
京都RC	草津RC	福井RC	京都南RC

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

会員増強・拡大委員会 委員長 渡邊 義信(福井RC)

メルボルン国際大会説明会

2023年3月11日(土) ZOOM

2023年国際大会は、メルボルンにて2023年5月27日～31日に開催されます。そこで、大会説明会を開催させて頂き75名様にご参加を頂きました。

まず始めに、尾賀康裕ガバナーより大会に参加する意義と魅力をご講話頂きました。そして、今まで殆どの国際大会に参加されている、T-LIFEパートナーズ(株)京都支店 全永奈氏(京都伏見RC)、内田リカコ地区国際奉仕委員長(桜井RC)、柳澤育代地区グローバル補助金委員長(奈良RC)に、大会の



2019年、ハンブルク国際大会 夕食会の様子



メルボルン国際会議場



ロッドレーパーアリーナ

魅力や楽しみ方、又メルボルンのフライト情報やホテル情報についてお話しを頂きました。尾賀康裕ガバナーはRI大会本部に地区内登録人数を100名と掲げられておりましたが、4月4日現在の地区内登録者は98名となっておりこの月信が発刊される頃には目標達成されているかもしれません。



メルボルン 夕食会会場

さて、4年ぶりになります現地での「地区親睦夕食会」を5月28日19時よりインターコンチネンタル・メルボルン・ザ・リアルトにて開催致します。3年間開催出来なかった今まで楽しく素晴らしい会になるよう全力で設営していく所存です。皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

国際交流委員会 委員長 浦島 睦(奈良東RC)

2022学年度米山奨学生 終了式・歓送会開催

2023年3月12日(日) 京都東急ホテル

去る3月12日、2022学年度米山奨学生終了式を京都東急ホテルで3年ぶりにリアル開催いたしました。尾賀ガバナー、北河原パストガバナーはじめ多くの皆様にも花を添えて頂き、心に残る終了式になりました。尾賀ガバナーからは「世話クラブやロータリアンへの感謝の気持ちと、米山学友である誇りを持ち続け、いつまでも母国と日本の平和の懸け橋として活躍してくれることを心より願っています」という言葉を頂き、皆が感激するとともに、すべてのセレモニーにおいて感動の場面となりました。

歓送会ではカウンセラー、奨学生とペアで思い出を語って頂き、尾賀ガバナーが胸熱くされる場面もありました。

歓送会終了後は2650地区米山学友会による「お餅つき大会」が開催され、皆初めてのお餅つきに歓声を上げ、和やかな雰囲気に包まれていました。



巣立っていく米山学友たちとロータリアンによって、世界の平和に貢献できる事業であるとあらためて思うと共に、「感動、感激、そして感謝」の一日となりました。

米山奨学委員会

委員長 下川 和馬 (福知山西南RC)



2023-24年度「会長エレクト研修セミナー」

2023年3月18日(土) ホテルオークラ京都 暁雲の間

国際ロータリー第2650地区2023-24年度「会長エレクト研修セミナー」が2023年3月18日(土) ホテルオークラ京都(暁雲の間)にて開催されました。

当日は地区内より94RCの会長エレクト(欠席者は後日補講を終了)を始め11名のパストガバナーやガバナー補佐14名全員、6名の地区研修委員など総勢175名の出席でした。



特別講話として元RI理事、千玄室様より「クラブ会長の使命と責任」と題してお話を頂いた後、中野博美ガバナーエレクトより「国際協議会報告」「RIテーマ」「地区運営方針及び地区目標」を発表。

その後、ガバナー補佐単位に14グループに分かれて担当ガバナー補佐と各会長エレクトとのグループディスカッションを実施、また地区委員長からの委員会PR時間も設け充実した研修セミナーとなりました。

セミナー終了後には3年振りに「夕食懇親会」も実施され2023-24年度へ向け有意義な一日となりました。

次年度幹事長予定者 三好 正晃(京都RC)



奉仕活動団体フォーラム

2023年2月4日(土) ANAクラウンプラザホテル神戸

奉仕活動団体であるライオンズクラブ国際協会335-A地区ガバナー浜原正豊氏、国際キワニス日本地区ガバナー吉國眞一氏、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区理事田上正氏、国際ロータリー第2650地区ガバナー尾賀康裕が、各奉仕活動団体の活動をより広く市民社会に周知する機会とし、各団体が互いにその活動を理解し合い、また互いに夫々の活動を学び、自らを高め、より効果的な活動を行う一助として、さらに各団体が協力、協働の可能性を図る目的で、フォーラムを開催しました。

夫々の団体の奉仕活動の目的、実践等を有り体に報告し、意見交換がなされ、今後夫々の団体の活動の協力、協働の可能性

についての展望にも意見が広がり、今後の夫々の団体の活動の協力、協働に期待ができるフォーラムと思料しました。

このようなフォーラムは初めてと言うことで、とても貴重な機会になりました。またこのような機会を頂いたことに感動、感激そして感謝しています。

地区幹事長 田中 勝(近江八幡RC)

奉仕活動団体フォーラム
 互いの強みと協働を促す奉仕活動者同士の
 共に協力、協働の取り組みを推進する

日時: 2023年2月4日(土) 13:00-15:00(12:30開場)
 会場: ANAクラウンプラザホテル神戸 10階6-6ホール
 入場無料(ご来場だけでも参加できます)

4名の行事リスト・ファンリダー・特別ゲスト 西日本区理事田上正氏(ワイズメンズクラブ国際協会)が特別講演者として参加します。

ライオンズクラブ国際協会 335-A地区ガバナー 浜原 正豊 氏
 国際キワニス 日本地区ガバナー 吉國 眞一 氏
 国際ロータリー 第2650地区ガバナー 尾賀 康裕 氏
 ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区理事 田上 正 氏

※特別講演者の講演料は主催者負担です。
 ※特別講演者の講演料は主催者負担です。
 ※特別講演者の講演料は主催者負担です。
 ※特別講演者の講演料は主催者負担です。

主催: ライオンズクラブ国際協会 西日本区理事 田上正氏



各奉仕団体の概要(会議資料等より)

- ライオンズクラブ国際協会
 世界で50,077クラブ、140万名の会員
 国際的な社会奉仕団体「アクティビティ」の実践で社会奉仕
- 国際キワニスクラブ
 2019年12月世界で約7,400クラブ、19万名の会員
 「子ども達の未来のために」と言うテーマで社会奉仕
- ワイズメンズクラブ国際協会
 2022年5月世界で1,500超のクラブ、24,000名超の会員
 イエス・キリストの教えに基づく世界的な友好団体
 YMCAに対する忠誠心で奉仕活動を展開

RLI研修会 卒後コース

2023年3月26日(日) 京都経済センター

3月26日RLI研修会「卒後コース」を、尾賀ガバナー、坂本パストガバナー、松原パストガバナーご出席のもと、京都経済センターにて開催いたしました。パートⅠ～パートⅢの学びに加え、今のクラブの課題について、参加者から質問、議案提案があり、積極的なディスカッションが進められました。また、参加者にもDLの経験をしていただき、充実した研修となりました。



「RLI研修」のご紹介 ～多くの皆様のご参加をお待ちしております～



2023-24年度も、パートⅠ・パートⅡ・パートⅢ・卒後コースを、9月から順次、開催いたします。

RLI研修は、リーダーシップ、奉仕、組織強化を研修の基本とし、個人やクラブの成長の一助となることを目指し、開催しております。フランクなディスカッションを通して、他のクラブの活動を知ることにより、個人や自クラブの課題に気づき、解決へと導ける貴重な研修です。各クラブにおいても、多くの先輩や仲間から学びを得る機会が多いかと存じますが、それに加えて、地区内の他クラブの活動を知ることにより、より課題解決や新しいチャレンジにつながると考えます。

会長エレクトのご参加が多いRLI研修ですが、ぜひ、入会まだ浅いメンバーの皆さんにもご参加いただきたいと思います。



す。所属クラブ以外の仲間との出会い、気づき、学びの機会になることでしょう。

さて、RLI研修は多くの卒業生を輩出してきました。その卒業生の皆さまには、是非DLとしてご活躍頂きたいと思っています。

ティーチングではなくコーチングの実践、ファシリテーターとしての学びの機会に加え、卒業後も、他クラブの情報を知る機会を得て、より良いロータリー生活を送って頂けるはずです。

卒業生の皆さま、DLとしてRLI研修に是非ともお力をお貸しいただきたくお願いいたします。

RLIへの理解を深めていただき、一人でも多くのロータリーアンのお役に立てるよう研修を開催して参ります。

たくさんのご参加、DLとしてのご協力をお待ちいたしております。

RLI委員会 委員長 野口 真理子(大津中央RC)

ロータリーと奉仕活動 - 私の感動、感激、そして感謝

ロータリーに感謝

京都北部グループ ガバナー補佐 高橋 行雄(舞鶴東RC)

今年でロータリークラブ入会39年目を迎えました。人生の半分以上の年数です。自分の地元でもなく、それまで全く友人知人のいない土地で仕事を始めてから、すぐにロータリークラブに入会する機会を得られたのは、今思えば幸運の限りでした。毎週の例会や様々な行事に参加できたことで、多くの友人と出会い、感動的な体験に出会い、ロータリーの綱領や四つのテストが、仕事上の行動指針ともなってきました。今年度ガバナー補佐としてお役目を果たす機会に恵まれたことで、ガバナーはじめ地区役員として、あるいはそれぞ

れのクラブで、懸命に地区運営やクラブ運営に励んでおられる役員の方々や、会長さんや幹事さんたちの姿に接することができたことに改めて感動しました。

私の39年間のロータリー生活は、クラブや地区を支えてこられた多くの先輩たちの献身的な奉仕のお蔭があったからだ、今更ながら思い至って、素晴らしいロータリークラブに感謝せずにはられません。



はちまん stagram



近江八幡の風景 /spot 紹介



足伏走馬 (あしふせそうめ)

賀茂神社は天智天皇の頃、日本で初めての国営の放牧場を建設された地に創建され、その当時より馬の守護神として、日本の馬の聖地として、信仰されてきました。

木々の間を疾走する騎手と馬が、400メートルの直線コースを颯爽とすり抜け競い合います。「七頭の馬、七番の神事」とも言われ、七頭の馬が二頭ずつ走り、トーナメント式にて順位を決定します。現在、古式の競馬としては全国に二つの行事しか残っておらず、現在の競馬を知る上でも、たいへん貴重な行事です。

賀茂神社

■住 所：近江八幡市加茂町1691

■開 催 日：2023年5月6日（土） 13：00～17：00

13:00 賀茂祭、15:00 競馬神事

国際ロータリー第2650地区 2023年2月 会員の動き

2月 入会者一覧

クラブ名	氏 名	職業分類
京都東山	川上 裕司	バー
京都東山	森田 理香	衣料 MD
京都洛中	川嶋 幹人	司法書士
京都嵯峨野	田中 肇	土産物卸売
宇治	大井 一	リユース業
福井南	佐々木栄秀	私立大学
びわ湖八幡	飯塚 信之	菓子・冷菓卸売業
びわ湖八幡	西川 博史	新聞販売

2月 退会者一覧

クラブ名	氏 名	クラブ名	氏 名
京丹後	吉浪 和也*	奈良東	巽 崇
京都	宮寄 久朗	※ 11月退会者	
京都	山岡景一郎		
京都南	西尾善三郎		
京都南	田辺 宗右		
京都南	藤野 貞一		
京都西	石原 收二	京都山城	西部 清志
長浜	川西 民雄		

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏 名
京都山城	西部 清志

(順不同・敬称略)



去る4月8日9日に開催いたしました第2650地区2022-23年度地区大会に多くの皆様のご登録とご出席を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

今大会のテーマは「感動・感激・そして感謝」参加された皆様の心が動き笑顔になることだけを想像し企画・運営いたしました。結果は参加された皆様が大会を盛り上げようと1つになっていただいたことにより、逆に私達ホストクラブ側の心が動き笑顔になりました。ロータリーの友情に感動・感激・そして感謝いたします。ありがとうございました。尚、過激な演出、不行き届きの点多々あったと存じますが何卒ご容赦くださいますよう御願い申し上げます。

追伸

5月、6月配信予定 地区大会YouTube動画お楽しみに♪♪



Rotary
District 2650



Kyoto
Fukui
Nara
Shiga

国際ロータリー第2650地区

2022-23年度 ガバナー 尾賀 康裕

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室

TEL：075-353-2650 FAX：075-343-2651 E-mail：gov2022-23@rid2650.jp